

下関市立大学広報



海峡の英知。未来へ そして世界へ。

公立大学法人

下関市立大学

Shimonoseki City University

2015年3月1日 第75号

発行：下関市立大学広報委員会

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL. 083-252-0288

FAX. 083-252-8099

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>



共同自主研究発表会

下関大丸・地下食品フロアにおける朝食需要の獲得

国際商学科3年 榎山 みなみ

(長崎県立猶興館高等学校出身)

平成26年度の共同自主研究において、私たちは8月から12月までの約半年間、下関大丸と共同でパンの開発を行いました。この研究の課題は、下関大丸が食品フロアとして打ち出す朝食イメージを明確にし、それを商品として具体化し市場に提案をすることです。これについて、私たち4人は普段からよく大丸地下食品売り場を利用している40~70歳の女性にターゲットを設定し、また地元の特産品を用いたパンなら愛着がわき売れるのではないかと考え、『朝一・山口・食べ心地』をテーマに掲げ、パンの製作・販売を行なうこととなりました。そして山口県産の食材を使った4種類のパンを提案し、実際に販売した結果、1週間で計画の約2.5倍の売り上げを達成しました。

この研究を通しての気づきは、下関大丸の地下食品売り場には80歳以上の顧客が予想以上に多かったことと、今回の販売によって初めて地下食品売り場に足を踏み入れた若年層が多かったことなどが挙げられます。また、限られた時間の中で商品開発のための市場調査からターゲットの設定、パンの考案、価格設定、販売など全てこなしたので、企業と学生間や学生同士の連携を上手く図らなければならず、それがとても難しかったです。今回の経験で学んだチームワークなどを今後の大学生活や就職活動、また就職後の職場でも活かしていきたいと思っています。(タイトル写真は下関大丸カトルセゾンの店長と学生)

テキストマイニングで映画の評価を研究

経済学科4年 鹿島 遼太

(福岡県立北筑高等学校出身)

わたしたちはテキストマイニングを用いて「アナと雪の女王」は本当におもしろいのか、という研究を行いました。「アナと雪の女王」は2014年最もヒットした映画で、アカデミー賞長編アニメーション賞を受賞するなど、世界的な大ブームとなりました。しかし、そのヒットとは裏腹に、著名人から批判的な意見もあります。そこで、今回テキストマイニングを用いて一般人の「アナ雪」への評価を調査しました。テキストマイニングとは、通常の記事からなるデータを単語や文節で区切り、それらの出現の頻度や共出現の相関、出現傾向、時系列などを解析することで有用な情報を取り出す、テキストデータの分析方法です。今回の研究では2014年11月12日時点においてTwitterで「アナ雪」と検索をかけ、ヒットした1486件のツイートを分析し、「アナと雪の女王」へのリアクションを調べました。その結果、「可愛い」が75回、「大好き」が55回、「好き」が47回、「感動」が39回とポジティブなワードが頻出し、「面白くない」「つまらない」などのネガティブなワードは頻出150位までは見受けられず、「アナと雪の女王」はよい印象をもっている人が多いという結論にいたりました。今後の課題としては、公開して間もない時期のツイートを収集し、研究したいと思います。



キャリア

インターンシップ報告会

教授 難波 利光 (キャリア委員会副委員長)

12月4日(木)16時30分から、学生、教職員、受入事業体など112名が参加して、インターンシップ報告会が開催された。報告会は、全体報告会と討論会の二部構成で行われた。

報告会は、企業ごとに報告を行った。学生は、PowerPointを作成し企業での経験を分かりやすく図解を用いながら説明を行った。それぞれのグループは、傍聴者に限られた時間で説明を行うことから要点整理を的確に行い実社会でも役立つスキルを身につけたといえる。

討論会では、個別に各教員が振り返りを指導し、貴重な経験の意味合いを整理する上で学生は自己を改めて見つめ直す時間になった。

受入事業体による学生へのアドバイスは、インターンシップ期間中の人間関係が親密であったことを窺わせるものであり、学生のことを真剣に考えて頂いていたことがわかる。この様なことから、地域の方々と学生一人一人を育てる基盤形成ができたことに感謝する。



学内合同業界研究会について

今年度の学内業界研究会は、例年よりも約1ヵ月遅い12月4日(木)、5日(金)、6日(土)、8日(月)、9日(火)の5日間開催いたしました。これは、就職活動の開始時期が、現在の3年生から3月1日解禁へ変更となったことに伴うものです。また、例年4日間での開催でしたが、企業からのご依頼が多く、急遽、土曜日の開催を追加しました。それでも受け入れが間に合わず、やむなくご出席のお断りをした企業も数多くありました。

就職活動時期が遅くなったことで、例年よりも、就職に関する意識が希薄になるのではないかと危惧していましたが、結果として、出席した学生数は例年を上回り、非常に活気のある業界研究会となりました。



更に、企業からは、この時期にしては、質問が鋭く、しっかり業界・企業研究が出来ている学生に多く出会えたとの感想をいただきました。

キャリア概論を受講して

経済学科1年 立石 創太郎 (熊本県立湧心館高等学校出身)

この講義を通して、多くの社会人の方からそれぞれの仕事で実際に行っていることや、学生時代をどのように過ごしたかなどのお話を伺い、働く上での視点や何を意識しているかなどを知ることができました。お話を聞くにつれて、はじめは漠然としか想像できなかった「社会人」「働く」というものが、鮮明に具体性をもってイ

メージできるようになり、それに伴って、自分が学生の中に、より明確な将来像を描き、目標をもって主体的に行動し、多様な経験を積む必要があることに気づかされました。これからの大学生活において、何を意識してどのように過ごすべきか、自分なりの指針を得ることができました。

キャリア概論を通して、私にとっては遥かに大きく思えた学生と社会人との間の距離を、わずかもかもしれませんが縮めることができたように思います。



ビジネス・プロフェッショナルを受講して

公共マネジメント学科3年 森山 宗一郎 (島根県立出雲高等学校出身)

この講義を通じて、現場の第一線で活躍している様々な社会人の方からお話を聞かせて頂きました。その中で痛感したのは、様々な業種について「自分の想像する仕事」と「実際に行う仕事」とのギャップが大きかったことです。現場で働いている方から直接聞くお話だからこそ、インターネットや書籍からは得ることのできないリアルな情報がたくさんあり、私の中での職業観をより深めることができました。また、社会人としての心構えについても聞かせて頂きましたが、その中で「安定志向が最大のリスク」という言葉が印象に残っています。就職できれば安定とは必ずしも言うことができな



なった世の中だからこそ、社会に出ても自分の力で乗り越えていけるように、“知的体力”やスキルを大学生の今だからこそ身につけていきたいと感じました。

市大キャリアスタディに参加して

経済学科3年 川上 恭亮 (福岡県立嘉穂高等学校出身)

11月15日(土)に、本学の卒業生をお招きし、社会の実情を聞く市大キャリアスタディが開催されました。私が今回の市大キャリアスタディに参加しようと思った理由は、就職活動が近づく中で何かしたいと思ったからです。キャリアスタディでは、市大の先輩方がどのように働いているのかを聞き、自分の思っていた仕事と実際の仕事にギャップがあることを知りました。その中でも、仕事に目標を持って取り組んでおり、いきいきとしている先輩方を見て、私もこのようになりたいと思いました。その為には、まずは自分自身と企業について知る必要があることがわかりました。キャリアスタディは、卒業後の先輩方を見て感銘を受けたり、企業を知ることが出来る良い機会でした。この機会を活かして、企業をもっと研究し先輩方の様に自分が輝ける仕事を探していこうと思います。



平成26年度の就職状況について

企業の業績回復や人手不足を背景とした、企業の採用意欲の高まりがみられることもあり、平成27年3月の全国の大学卒業予定者の平成26年12月時点での就職内定率は、前年同期を上回っており、これで4年連続の上昇となっているようです。

本学学生については、平成26年12月時点で、就職内定率が前年同期に比べ12ポイントほど上回り、全国平均以上の上昇となっています。この一つの要因として、本学への求人数が本年度上半期時点で早くも昨年度を上回るほど増加したことが挙げられます。

内定先を業種別にみると、例年通り金融・保険が最も多く全体の27%を占めており、次いで小売業13%、製造業10%となっています。また本年3月に初めて卒業生を送り出す公共マネジメント学科の就職内定率は平成26年12月時点で、すでに男女とも90%を超えています。



教授 高橋 和幸
(キャリア委員会委員長)

平成26年度就職状況(就職内定企業一覧)

金融・保険	製造	税理士法人エフ・エム・エス	建設・不動産	情報・通信
日本銀行	林兼産業(株)	税務クイック福岡	積水ハウス(株)	日本放送協会
日本政策金融公庫	イオンフードサプライ(株)	税務クワント	タマホーム(株)	株式会社大塚商会
株式会社みずほフィナンシャルグループ	カバヤ食品(株)	税務TAL	東建コーポレーション(株)	株式会社光通信
株式会社三菱東京UFJ銀行	朝日生命保険相互会社	税務日本経管理念研究所	パナホーム(株)	株式会社EMシステムズ
株式会社伊予銀行	住友生命保険相互会社	税務地方独立行政法人静岡県立病院機構	株式会社ヤマダエスバイエルホーム	株式会社KDDI
株式会社京都銀行	第一生命保険(株)	税務庄内医療生活協同組合	株式会社エムピーエス	株式会社プロードリーフ
株式会社西日本シティ銀行	東京海上日動火災保険(株)	税務社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ミサワホーム中国(株)	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社広島銀行	日本生命保険相互会社	税務株式会社医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社一条工務店	株式会社日本システム技術(株)
株式会社阿波銀行	広島県共済生活協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社情報技術開発(株)
株式会社大分銀行	富国生命保険相互会社	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社鹿児島銀行	柳井電機工業(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社情報技術開発(株)
株式会社佐賀銀行	三井住友海上あいおい生命保険(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社山陰合同銀行	三井住友海上火災保険(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社十八銀行	明治安田生命保険相互会社	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社中国銀行	アコム(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社宮崎銀行	滋賀県信用農業協同組合連合会	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社北九州銀行	島根県信用農業協同組合連合会	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社親和銀行	山口県信用農業協同組合連合会	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社福岡銀行	山口県信用農業協同組合連合会	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社山口銀行	日本郵便(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社愛知銀行	鹿児島県農業協同組合連合会	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社愛媛銀行	伊万里市農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社関西アーバン銀行	うま農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社高知銀行	雲南農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社トヨタ銀行	香川県農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社豊和銀行	北九州農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社南日本銀行	佐賀県農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社西京銀行	下関農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社佐賀共栄銀行	たけな農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
株式会社もみじ銀行	西いわみ農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
九州労働金庫	延岡農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
中国労働金庫	日向農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
おかやま信用金庫	やすき農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
遠賀信用金庫	山口中央農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
鹿児島信用金庫	鹿兒島県農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
鹿児島信用金庫	鹿兒島県農業協同組合	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
九州ひびき信用金庫	伊藤忠食品(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
京都中央信用金庫	神栄(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
呉信用金庫	加藤産業(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
但馬信用金庫	トラスコ中山(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
徳島信用金庫	株式会社カワニホールディングス	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
西尾信用金庫	成和産業(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
西中国信用金庫	アブライド(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
日新信用金庫	アイティアイ(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
備前信用金庫	アシード(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
姫路信用金庫	株式会社アマノ	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
兵庫信用金庫	株式会社網中	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
広島信用金庫	イシゴロ(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
水島信用金庫	伊藤忠エクスプレスホームライフ西日本(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
米子信用金庫	株式会社ウッドワールズのぞき	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
大分県信用組合	株式会社ACN九州	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
熊本県信用組合	株式会社エフティコミュニケーションズ	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
SMBCフレンド証券(株)	大西商事(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
丸三証券(株)	株式会社カクサス	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
みずほ証券(株)	株式会社カンサイ	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
豊商事(株)	株式会社キートンシステム	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
SMBC日興証券(株)	クラブ(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
岡三証券(株)	株式会社興農園	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
岡地証券(株)	株式会社興陽電機	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
香川証券(株)	株式会社コニシ	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
KOYO証券(株)	三鋼販西日本(株)	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
大和証券(株)	株式会社翔葉	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
東海東京証券(株)	株式会社新日薬品	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
野村證券(株)	株式会社正覚	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
愛媛県信用保証協会	株式会社デンソーセールス	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
和歌山県信用保証協会	株式会社東七	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
大阪中小企業投資育成(株)	株式会社トーハン	税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)
		税務株式会社社会医療法人昌林会安芸第一病院	株式会社ジョイフル	株式会社日本コンピュータシステム(株)

国際交流

韓国での忘れ得ぬ青春

国際商学科3年 小野 雅世 (山口県立長府高等学校出身)

私は第一外国語に朝鮮語を履修し、1年生の秋学期から留学を考えるようになりました。2年生の3月から釜山広域市の東義大学校に留学する機会を得て、期待に胸を膨らませ留学に臨みました。東義大学校では、前期の午前は語学、午後は専門科目を、後期は午前から専門科目を受講しました。前期の講義では、朝鮮語が聞き取れない日々が何日も続き、焦りと不安を感じました。そこでサークルに加入し、友人との輪を広げ、朝鮮語に触れる機会を作ることになりました。そして、毎日の語学講義でサポートして下さる先生方、友人たちとの会話練習のおかげで、1ヵ月ほど経った頃、生活を送るには問題ない語学力が身についていることに気づきました。自らの行動に限界を決めてはいけないという思いを持ち続けることで、毎日の留学生活が充実したものとなりました。外国人の集まりに顔を出し、サークルのイベントに参加し、日帰り旅行では慶州に行き、韓服を着る体験をするなど、積極的に行動していると10ヵ月はあっという間に過ぎていきました。私の韓国での留学生活は、かけがえのない友人達に支えられて、素晴らしい貴重な体験となりました。



クイーンズランド大学への派遣留学を終えて

国際商学科3年 エスカラダ アレックス (岐阜県立可児高等学校出身)

私は国際的な経験を通じて様々な知識や考え方を学びたいと考え、1年間のクイーンズランド大学への交換留学を希望しました。そこでの勉強は決して簡単なものではありませんでしたが、精一杯努力し、異なる分野から受講した全ての単位を取得することができました。大学での勉強以外にも、サークルやボランティア活動に参加したり、国連のインターンシップに参加し社会問題に関する研究を行ったりしました。長期休暇の時期には、友人とオーストラリア国内を旅行しました。エッカというお祭りやシドニーのオペラハウスに行ったり、コアラやカンガルーを見たりしたほか、フットボール観戦やオーストラリア風のバーベキューなど多くの体験をしました。滞在している間は、世界中の人々と友達になり、彼らとのコミュニケーションを通して、世界を様々な角度から見るできるようになりました。



クイーンズランド大学への留学は、私の人生の中でも最高の選択の一つであったと思います。この留学を支えてくださったすべての方々に感謝し、学んだことや体験したことをしっかり将来に活かしていきます。

第4回日本にいながら世界を知ろう!!を企画して

国際商学科3年 田川 晃士 (福岡県立門司学園高等学校出身)

10月9日(木)に、キベラスラム(ケニア)というアフリカ最大のスラムで子供たちの寺子屋を運営している早川千晶さんと大西匡哉さん(パーカッション奏者)、近藤ヒロミさん(アフリカ楽器奏者)をお招きし、極度の貧困、虐待など、過酷な状況下で懸命に生き抜いている子どもたちについてお話を聞きました。スラムの現状と、その

悲惨さを知りました。また、スラムの人々の生きようとする力強さ、貧しく苦しいなかでも楽しもうとする明るさも感じることができました。この講演を通して、スラムの人々のために自分たちには何かできることは何かを再考するきっかけになりました。

講演会後は、交流会を行いました。アフリカ楽器による魂のこもった演奏があり、非常に充実した時間になりました。



第5回日本にいながら世界を知ろう!!に参加して

国際商学科3年 下田 修嗣 (京都府立宮津高等学校出身)

1月15日(木)に「そこが知りたい交換・派遣留学」と題し開催した第5回日本にいながら世界を知ろう!!では、6名の交換・派遣留学経験者がそれぞれの体験談(中国、韓国、トルコ、オーストラリア、アメリカ)を発表しました。参加者の中にはこれから留学することを考えている学生や留学が決まっている学生もいたので、留学中の写真も使いながら留学への興味や期待を高めてもらえるように努めました。発表者の体験談や写真に思わず笑ってしまう場面や、異文化を知るための非常に良い話に真剣に耳を傾ける場面もあり、参加した学生は有意義な時間を過ごせたと思います。発表者自身も留学先の異なる学生の話に興味を持ち、留学先による体験の違いをわかりやすく伝えられたと思います。また、一人ずつ自身の留学体験を踏まえた「留学の魅力」を語ってもらいました。留学先で学んできたことはそれぞれ異なりますが、自己成長したという点では共通していました。発表が終わる頃には参加者の目も輝きを増し、留学に関する質



問が活発に飛び交いました。今回の発表会を通じて一人でも多くの学生が留学に興味を持ち、世界へ羽ばたいてくれることを期待しています。

留学生送別会を終えて

国際交流会ともだち部長 経済学科2年 坂田 大樹 (下関市立下関商業高等学校出身)

1月23日(金)に、国際交流会ともだちサークル主催で留学生送別会を開催しました。今年度卒業予定の留学生の皆さんに、下関市立大学での思い出の一つにしてもらえればと考え今回の送別会を企画しました。当日は来賓の皆様をはじめ、大学教職員の方々、多くの留学生に参加していただきました。送別会は短い時間でしたが、留学生あいさつや下関市親善大使任命書交付式、よさこい演舞、歓談時間などで、それぞれ交流を楽しみました。2年生の私たちが主催した初めての学内行事のため、準備や進行にたくさんの反省点が残りました。来年度の歓迎会では今回の反省を踏まえて、例年とは内容に変化を加えた自分達らしい歓迎会を企画し、新たな留学生を気持ちよく迎えてあげたいと思います。



クリスマスパーティーを開催して

JASH!!!!リーダー 経済学科2年 藤井 良樹 (兵庫県立星陵高等学校出身)

12月19日(金)夜にSCU国際交流会館で、ウエスタンスタイルのクリスマスパーティーを「クリスマスって何!?クリスマスを知ろう!!」と題して開催しました。本学の学生、教職員、また留学生の皆さんにも多数ご参加いただき、非常に濃いひとときを過ごしました。

シャンメリーでの乾杯に始まり、七面鳥の丸焼きやブランデー入りプディングなど西洋料理を楽しみました。また、聖書でクリスマスについて学んだり、クリスマストリビアクイズやビンゴ大会などでも、非常に有意義なパーティーになりました。

このパーティーを通して、多くの方々と楽しい夜を過ごせたことを光栄に思います。開催にあたり、ご協力、ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



日中友好の絆・食・見・交・群～餃子パーティー～

第7代中国語しゃべっチャイナリーダー 経済学科1年 馮 赫 (中国・山西省出身)

1月10日(土) SCU国際交流会館で第7回食・見・交・群を開催しました。日本人学生、留学生、地域の方などたくさんの方が積極的に参加してくれました。餃子はすべて手作りしました。中国人学生はもちろん、初めて餃子を作った人達も予想以上に見事に作る事ができました。その後、皆で超アツアツの水餃子を食べました。あまりの美味しさに、普段は食が細い方もたっぷり食べていました。

いっぱい食べたあと、談話室に移動し、我々が準備した余興を見てもらいました。中国の文化が少しわかってもらえたようです。最後に書道で「日中友好」と書いて交流会を締めくくりました。皆でお腹も心もいっぱいになるまで楽しみました。

青島市との友好都市締結35周年を迎えたこともあり、このような交流のチャンスをもっと増やしたいと思います。来年の餃子パーティーへの皆さんの参加をお待ちしております。



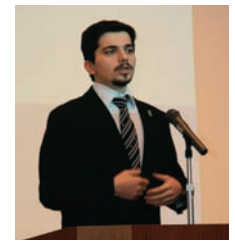
第2回日本語スピーチコンテストを終えて

日本語スピーチコンテスト実行委員会 委員長 国際商学科2年 久保 友里香 (広島国際学院高等学校出身)

11月15日(土)に日本語スピーチコンテストを開催しました。梅光学院から2名、東亜大学から4名、下関市立大から9名の留学生が出場しました。昨年よりも他大学からの出場者が増え、より規模の大きな大会になりました。どの出場者も楽しそうに、そして真剣に、自分の好きな日本文化について発表しました。スピーチの中には私たちが当たり前だと思っていることも留学生にとっては驚くべきものなのだということが多々あり、私たちが自国の文化の大切さを改めて実感しました。

また、今回の日本語スピーチコンテストは2回目の開催でした。まだ不十分なところも多かったのですが、団体や企業の方からのご

支援、諸先生方のご協力のもとで無事成功することができました。今回の反省点を活かし、来年の第3回日本語スピーチコンテストも成功するように努めていきます。



第6回中国語スピーチコンテストを企画して

第6代中国語しゃべっチャイナリーダー 経済学科2年 楊 嵩 (中国・黒竜江省出身)

11月9日(土)に開催した第6回中国語スピーチコンテストは、27名の方々が出場し、日頃の研鑽の成果を十分に発揮して無事に終了しました。今大会にお越しくださった皆様に厚くお礼申し上げます。

『論語』の冒頭には、「勉強をし、その学んだことを機会あるごとに復習し練習を積み重ね、その学んだものは本当に自分自身の知識となって身につきます。」という言葉があります。中国語スピーチコンテストは皆さんが中国語に親しみ、復習し、練習するために毎年開催しています。今年は、青島市との友好都市締結35周年を迎え、メディアにも取り上げられました。今後も、より良いスピーチコンテストを開催するために、一生懸命頑張ります。



ご協力やご協賛、ご支援をくださった下関市、企業、下関市日中友好協会、大学教職員の皆様により感謝しています。

第10回下関市立大学コリアンスピーチ大会を企画して

コリアンスピーチ大会実行委員会 委員長 経済学科2年 宮田 桃子 (鹿児島県立武岡高等学校出身)

11月19日(水)に第10回下関市立大学コリアンスピーチ大会が無事に終わることができました。今年の大会は高校生から社会人まで総勢47名という例年よりも多くの方々に出場していただき、実行委員長としてとても嬉しく思います。このスピーチ大会を準備、企画した実行委員会のメンバーにとっても大変有意義であり、感慨深い経験となりました。

今大会も朗読、暗誦、弁論の部に分けて行いました。今年は特にレベルの高い大会となり、朝鮮語を学んでいる実行委員一同も大変刺激を受け、今後の励みになりました。大会に関わってくださった皆様に厚くお礼申し上げます。

このコリアンスピーチ大会を通してより多くの方々に朝鮮語に興味、関心を持っていただき、交流を深めていけたら良いと思います。



退任挨拶



足元にも及ばず

教授 平岡 昭利

2015年3月末で市立大学を去りますが、研究者には定年がありません。私の恩師の織田武雄先生は、100歳で亡くされましたが90歳近くまで本を刊行されました。

戦前は陸軍の地政学と一線を画され、戦後すぐにわずか100人でもって人文地理学会を創設、人文地理学の復興を成し遂げられました。先生に比べ私などはまだまだ「足元にも及びません」。

また、私が還暦を迎えたとき、尊敬する友人の一人が、「自分の研究者人生は30歳からと人より遅く、平岡さんは今60歳、90歳まで研究ができるとして、今までの研究人生の丁度半分、あと30年あるよ」と言われ、衝撃を受けました。

90歳まで、あと25年は無理としても、生涯50冊の本の刊行を目標として、現在7合目であり頂上を目指し、マイペースの現役ランナーとして、もう少し走り続けます。

最後になりましたが、大学には19年間お世話になりました。教員の方々には、大変な時期にいろいろな委員会で支えていただきました。先生方一人一人に厚く御礼申し上げます。

退任教員紹介

太田 周二郎 教授

32年にわたり、専門分野である憲法を中心に、専門教育にご尽力いただきました。

心より感謝申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

下関市立大学 News

リーダーシップトレーニング

～リーダーになるためのワクワクドキドキの指導者論～に参加して

学生会執行部 会計局長 公共マネジメント学科2年 平野 航一朗

(和歌山県立日高高等学校出身)

2月12日(木)に行われたリーダーシップトレーニングに参加しました。クラブやサークルの部長を対象に行われるこの研修では通常の講義とワークショップ形式の講義が行われ、集団のマネジメント、心身の感性と指導力について理解を深めることが目的とされていました。私はこの研修を通じて、リーダーが持つべき「人としての魅力」とは何か、組織のメンバーとのコミュニケーションの取り方を学びました。また、感情を表に出さないもしくは上手く表現できないメンバーの抱える問題をどのように感じ取りサポートしていかなど組織をマネジメントしていくうえで必要なことを多く学ぶことができました。今後、この研修で学んだことを活かしながら、自分が所属しているクラブまたはサークルの活動をより充実したものにしていければと思います。



内定者懇談会に参加して

国際商学科3年 三好 友良 (大阪府立狭山高等学校出身)

12月9日(火)に内定者懇談会が開催されました。私が懇談会に参加しようと思った理由は、先輩方の生の声を聞きたかったからです。今年度から就職活動の開始時期が先送りになりました。それによって、就職活動が本格化する時には4年生の先輩方は卒業されており、お話を聞くことができません。今回は、先輩方の生の声を聞くことができる数少ない機会でしたが、非常に貴重なお話を聞くことが出来ました。先輩方のお話の中で共通していたのは「準備が大切」ということです。エントリーシート・筆記試験・面接、どれだけ準備したかが最終的な結果となって表れるということです。

新たな制度により、先が見えないからこそ準備が一層大切になってくると痛感しました。今回の経験を活かし、出来ることから始めていこうと思います。



キャリア合宿に参加して

経済学科3年 土肥 瑞希 (徳島県立城ノ内高等学校出身)

キャリア合宿では多くのことを学び、社会人になるにあたっての自分の方向性を見出すことができました。実際に働いていらっしゃるOB、OGの方々によるお話を聞き、社会人とのギャップを実感しました。先輩方から様々なアドバイスを受け、自分に足りないものは何なのかということに気づくこともできました。また、仕事に関する生の声を聞くことで、将来を考える上での大きな収穫となりました。4年生の先輩方や



キャリアセンターの方々も様々な場面でサポートして下さり、大変有意義な2日間を過ごすことができました。ここでの得た経験を社会人になっても活かしていきたいと思っています。

キャリア形成シンポジウム

『キャリア教育のウソ』から考える、地方大学での課題と実践

特任教員 森山 智彦 (キャリア教育)

11月29日(土)に開催された本シンポジウムでは、まずキャリア教育論の第一人者である児美川孝一郎先生から、キャリア教育が本来目指すべき方向性と現状との乖離についてお話し頂きました。続いて、平尾元彦先生から地方大学の現状をご説明頂き、最後に企業の方を交えて、地方大学だからこそ可能なキャリア教育とは何かといった論点を中心に、パネル・ディスカッションが行われました。それらの中で、単なる就活対策ではなく、生きる力を総合的に育む教育を教職員が一枚岩となって全学的に実施する重要性や、授業における細かな指摘、職員の窓口対応といった小さな積み重ねが学生を大人にすることにつながるといった言及がなされました。さらに、地域活動を通じて育まれた「地域貢献」に対する皮膚的な感覚が、地方でキャリアを歩む上で大いに役立つといった指摘がなされました。



第7回鯨資料室シンポジウム

特任教員 藤谷 岳 (地域共創センター アーカイブ部門長)

10月18日(土)、第7回鯨資料室シンポジウム(主催:下関市立大学附属地域共創センター)が開催されました。今回は「下関の鯨産業を辿る～商業捕鯨時代を中心とした公開聞き取り～」と題され、2つの報告とパネルディスカッションが行われました。

第1報告は、佐竹敏之氏(下関市立生野小学校教諭)による「大洋ホエールズから見た大洋漁業と下関」、第2報告は、岸本充弘氏(下関市立大学附属地域共創センター委嘱研究員)による「データから見る下関の鯨産業」でした。パネルディスカッションでは、第1報告者の佐竹氏に加え、常岡梅男氏(林兼産業(株)元工場長)、多賀正武氏(林兼造船(株)元技師)、小島純子氏(下関くじら館店



長)が登壇し、岸本氏のコーディネートのもと、下関の鯨産業とそれに関わる地域の社会・文化等について、多様な観点から活発な議論がなされました。

FDフォーラム

教授 川野 祐二 (FD委員会副委員長)

11月13日(木)13時30分、本学にてFDフォーラムを開催。テーマは「近年の高等教育政策と問題点」。同演題で塚原修一先生(前国立教育政策研究所高等教育研究部長・現関西国際大学客員教授)の講演、および同先生、本学教員西田光一教授、天野かおり准教授によるパネルディスカッション。会場から質疑あり、登壇者の応答あり。40名を超える参加者の活発な議論のうちに終了。論点は以下のとおり。

今日本の大学は、点検評価、改革への取り組みの中で、多忙を極めているが、大学本来の目的に立ち返って、研究と教育のできる環境を維持し、大学教員の多面的な能力を引き出す必要がある等々の主張がなされた。

本学の教員も、大学教員を取り巻く現状を知り、現在の状況をふまえつつ、教育につながる研究について考える一助となったのではないかと期待している。



関門サミットと今後の学生FD活動

学生FD委員会 経済学科2年 野口 賢人 (福岡県立小倉西高等学校出身)

私たち学生FD委員会は、学校生活をより良く、また充実するために活動を行っています。年間を通して各地で開催される「学生FDサミット」にも参加をしています。現在、人数は10人未満と少人数のため、新たな人材を求めています。



関門サミットとは、毎年11月下旬に行われる関門地域の大学が参加する総会(サミット)です。今回新たに参加した大学

もありました。サミットでは定番のしゃべり場(意見交換の場)を通して、学生同士だけでなく、各大学の教職員の方とも意見交換しました。サミットに参加していつも思うことが、学生FDの認知度が低いということです。本学の学生に聞いてみても低いと思われます。

今後、認知度アップを図るため、教職員で組織されたFD委員会と協働し、教員と学生が意見交換できる場があるということを多くの学生に理解してもらいたいと思います。

WEST論文研究発表会で分科会賞を受賞

准教授 中川 真太郎

専門演習Ⅰ・Ⅱの中川(真)ゼミの3年生12名、4年生4名が3班を構成してWEST論文研究発表会に参加し、そのうち1班が分科会賞を受賞しました。

WEST論文研究発表会とは、経済学の視点から政策提言を行っている大学生の団体です。発表会は同志社大学で開かれ、今年は大阪大学・神戸大学・九州大学・関西学院大学などから参加があり、発表された論文の数は70本を超えました。

当ゼミでは経済政策をテーマとしており、この大会を通じて実際に社会の問題を分析し政策を提言することは教育上、非常に効果的であると考えています。

とはいえ、論文執筆では、研究テーマを適切に設定し、現状をしっかりと分析し、先行研究を精査したうえで、仮説を設定し、データを集め、計量経済学を用いて分析し、さらに、分析にもとづいて実行可能で効果的な政策を提言することが求められます。

これは学部学生には大変な課題ですが、各班で作業を分担しチームワークで乗り越えることで、今年も無事に論文を発表することが出来ました。なかでも、古賀班が発表した「地方銀行の経営安定化に向けて～パネルデータを用いた費用効率性の実証分析～」は分科会賞を受賞することが出来ました。この経験は学生にとって、大きな自信となり、成長に繋がったことと思います。

なお、WEST論文研究発表会への参加に際し後援会より援助を賜りました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



エコキャンパス活動

チューリップとパンジーの苗を植えました

エコキャンパス推進委員会では、春の卒業式と入学式を華やかに迎えるため、毎年11月中旬から下旬にかけて、花の球根や苗を植えています。今年度は11月19日(水)の午後、学生と教職員の合計19名が協力して、チューリップとパンジーの植え付け作業を行いました。学生の皆さんは授業の合間を縫っての作業でしたが、花の色の配置を考えたり、より根付きやすくしようとしたりするなど、意見を出し合い工夫して、楽しそう



に、また積極的に作業をしていました。冬の寒さを乗り切り、春にきれいな花を咲かせ、式典に花を添えてくれるよう、皆さんも楽しみにしててください。

平成26年度 秋季大会成績

サークル名	イベント名	所属・出場種目	結果	備考・個人名
準硬式野球部	中国地区大学準硬式野球秋季大会	I部	4位	
軟式野球部	西日本地区学生軟式野球秋季大会	I部	2位	
硬式庭球部	全日本大学対抗テニス王座決定試合中国四国地区大会	団体男子4部	1位	
		団体女子4部	1位	
		男子団体	1位	
		男子個人ダブルス	ベスト4	上田 浩貴・他大学学生
	北九州・下関地区大学体育大会(硬式テニス競技)	男子個人シングル	1位	藤田 悠介
		女子団体	1位	
		女子個人ダブルス	1位	瀬戸口 詩織・森桶 愛叶
		女子個人シングル	ベスト4	熊野 智子・松下 美沙
ソフトテニス部	山口県秋季学生ソフトテニス選手権大会	個人ダブルス	3位	野副 翔平・峰岡 卓也
サッカー部	第37回中国大学サッカーリーグ	二部	8位	
ハンドボール部	中四国学生ハンドボール選手権秋季大会	三部	2位	
男子バレー部	中国大学バレーボールリーグ戦	男子チャレンジリーグ	3位	
バドミントン部	山口県秋季バドミントン大会	女子個人シングル	ベスト8	脇元 彩花
		女子団体	3位	
		女子個人ダブルス	3位	脇元 彩花・木村 珠莉
卓球部	第46回中国新人学生卓球選手権大会	男子団体	ベスト8	堀部 さやか・中村 愛
		男子個人	12位	
陸上競技部	第58回中国四国学生駅伝競走大会	一般男子	2位	
		2区	区間賞	奥村 康大
	第48回錦川清流駅伝大会	一般男子走り幅跳び	4位	松本 隆之
		一般女子走り幅跳び	2位	佐々木 あかり
空手道部	北九州・下関地区大学体育大会(空手道競技)	男子団体	1位	
		男子個人・形	2位	堀田 洋史
		男子個人・組手	3位	村瀬 智大
柔道部	第8回山口県学生柔道優勝大会	団体	2位	
		北九州・下関地区大学体育大会(柔道競技)	団体	3位

学生団体新役員紹介



第11代学友会執行部

会長 掛谷 尚史(国際商学科3年)
副会長 阿南 京平(経済学科3年)
会計局長 平野 航一朗(公共マネジメント学科2年)



第40代体育会

会長 梶谷 侑生(経済学科3年)
副会長 宮本 航太(国際商学科3年)
書記長 柳木 隆宏(国際商学科2年)



第31代文化会

会長 川合 達也(経済学科3年)
副会長 橋本 忠明(国際商学科2年)
書記 加藤 愛(経済学科3年)



第54回大学祭実行委員会

委員長 野田 康巨(経済学科2年)
副委員長 中田 智大(経済学科2年)
副委員長 飯田 瑞穂(経済学科2年)

行事記録(平成26年11月~平成27年2月)

- 平成26年**
 11月 5日 第2回就職ガイダンス
 9日 第6回中国語スピーチコンテスト
 13日 FDフォーラム
 15日 第2回日本語スピーチコンテスト
 市大キャリアアスタディ
 19日 第10回コリアンスピーチ大会
 第4回共創サロン
 22日 推薦・特別選抜(帰国子女等・社会人)・編入学選抜
 キャリア形成シンポジウム
 29日 学内合同業界研究会(～6日、8、9日)
 インターンシップ報告会
 12月 4日 内定者懇談会
 9日 共同自主研究発表会
 11日 外国人留学生選抜
 20日 冬季休業(～1月4日)
 25日 学内一斉休業(～1月4日)
平成27年
 1月 5日 授業再開
 10日 食・見・交・群～餃子パーティー～
 15日 第5回日本にいながら世界を知ろう!!
 16日 大学入試センター試験準備(全学休講)
 17日 大学入試センター試験(～18日)
 20日 交通安全講習会
 23日 留学生送別会
 27日 卒業論文提出日(～28日)
 29日 秋学期定期試験(～2月4日)
 30日 修士論文提出日
 2月 5日 プレイメントテスト
 7日 キャリア合宿(～8日)
 12日 リーダーシップトレーニング
 25日 一般選抜(前期日程)

入試状況

11月22日(土)に推薦入学、特別選抜(帰国子女・社会人)、第3年次編入学選抜を、12月20日(土)に外国人留学生選抜を実施しました。

	入試区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
経済学科	推薦入学	全国	27	78	78	30	2.6
		地域	A	29	45	45	30
	B						
	帰国子女	2	0	—	—	—	
	社会人	2	0	—	—	—	
	留学生	若干名	12	11	5	2.2	
	編入学	8	18	15	9	1.7	
国際商学科	推薦入学	全国	27	84	84	31	2.7
		地域	A	29	27	27	29
	B						
	帰国子女	2	0	—	—	—	
	社会人	2	1	1	1	1.0	
	留学生	若干名	21	20	11	1.8	
編入学	8	23	21	9	2.3		
公共マネジメント学科	推薦入学	全国	7	37	37	8	4.6
		地域	A	8	12	12	9
	B						
	帰国子女	1	0	—	—	—	
	社会人	1	1	1	1	1.0	
	留学生	若干名	0	—	—	—	
編入学	4	17	16	4	4.0		

*推薦入学の合格者数には第2志望学科合格者を含みます。

全国大会出場

少林寺拳法部

2014年
 少林寺拳法全国大会in 埼玉
 競技部門 団体演武
 (大学生団体の部)



森 紫央里・甲斐 周平
 山本 大貴・北野 仁
 柳木 隆宏・河内 良太

プロモーションビデオが完成しました

全10編から成り、本学の魅力が十分に詰まった内容となっています。公式ホームページで視聴できます。是非ご覧ください。

